



学 校 だ よ り

都 筑

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

9 月 号

令和8年8月31日

横浜市立都筑小学校

校長 大賀 教晶

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

日頃のつながりを、もしもの時に

副校長 富田 剛史

夏休みが終わり、子どもたちの明るい声が学校に戻ってきました。長い休みの中で、普段の学校生活ではできないことをしたり、ご家族で出かけたりして、それぞれが新しい発見や経験をしたのではないかと思います。私はというと、旅行など遠出はしなかったのですが、これまで、ご縁があった先輩や友人に久々に会うことができ、良い時間を過ごすことができました。そして、今年も中川東の八幡山のお祭りや牛久保西の盆踊り、先日は、おやじの会主催の夏イベントなど、いくつかの地域の行事に今年も参加させていただきました。ありがとうございます。どの会場も、子どもたち同士で楽しむ姿や賑わう人達の笑顔が見られ、とてもうれしい気持ちになりました。夏のひと時、心通い合う地域行事の素晴らしさを改めて感じました。

さて、9月1日は「防災の日」です。7月28日には、熊本で震度7の地震が発生し、家屋や道路など大きな被害が生じました。現在も被災された方々の復旧、復興に向けた取組が続いています。また、地震だけでなく、千葉での集中豪雨や台風も含め、浸水や土砂災害なども各地で起きています。皆様の中には、郷里が被災された方もいらっしゃるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。地震や豪雨などの自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。こうした災害を教訓とし、日頃から「もしもの時」に備えておくことが大切だと感じます。

横浜市では、各地域防災拠点で、避難者の受付、情報の共有、炊き出し、応急給水、要援護者への対応など、実際の災害を想定した様々な会議、訓練が行われています。また、今年度は10月4日（日）に横浜市総合防災訓練が予定されており、都筑区を会場として市民や防災関係機関との連携強化と地域防災力の向上をねらいとした取組が行われます。

本校においても、各自治会、町内会等、地域の皆様と共に地域防災拠点運営委員会による会議（年5回程度）や防災訓練（年2回）を行っています。夏休み期間中にも第3回の会議が開かれ、11月15日（日）の都筑小学校での地域防災拠点訓練の内容について検討を進めました。こうした活動の意義は、防災の知識や技能を身につけることだけではありません。日頃から、学校と地域が顔の見える関係を築き、いざという時に互いに声を掛け合い、支え合える関係をつくっておくことにあります。災害から命を守るためには、学校だけでなく、家庭、地域、学校、行政がそれぞれの役割を理解し、力を合わせることが大切です。防災の日を機会に、ご家庭でも避難場所や連絡方法、災害が起きた時にどのように行動するかについて、ぜひ話し合っていただけたらと思います。併せて、先日、すぐる配信をしました「風水害・地震等に対する登下校対応マニュアル（8月改訂版）」の確認もお願いします。

最後になりますが、まだまだ暑さが続く中、9月はいよいよ運動会の練習が始まります。熱中症対策を含め、子どもたちの健康面、安全面に留意して学習を進めていきます。保護者の皆様、地域の皆様、夏休み明けも、都筑小学校の教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。